

青山小学校区
コミュニティ
協議会

新潟市西区青山6-16-20
☎025 (233) 2990

〈広報〉
第16号
平成27年
11月10日

青山小学校区 コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

子育て応援へ



コミ協福祉部会が パンフレットを発行

子育て中の方のために、身近な支援施設や相談先の情報を選びすぐって載せた小さな「子育て応援パンフレット」を作りました。未就園(学)児のいるご家庭に民生委員さんがお届けします。

現在、青山小学校区内にも子育て支援施設が充実しています。各種施設のことをよく知らない人や、子育てに困難を感じて孤立している人がいないように、情報を発信しました。



平成二十七年 度 青山コミュニティハウス文化祭

文化・芸術の秋 力作と熱演

青山コミュニティハウスの平成二十七年 度文化祭が十月二十三日から二十五日までの三日間の日程で開かれました。秋色、期間中は秋空の好日に恵まれました。昨年を上回る入場者で賑わいました。二十三、二十四の両日は生花、書道、編物、俳句、手芸、陶芸の作品展、同ハウスを利用して習い事や学習をしているグループが日ごろの成果を披露しました。二十五日は芸能発表会、十二団体が出演し、民謡、フラダンス、ヒップホップダンス、太極拳、合唱などを熱演、会場から大きな拍手が贈られました。出演者と会場が一体となって斉唱する永田宏行さんの歌声は懐かしい名曲「荒城の月」「水色のワルツ」「あざみの歌」などが中・高年層から次々に披露され、盛り上がりました。三日間の来場者数は四百五十六人で昨年を上回りましたが、初日の出足はもう一つでした。



第33回 新潟シティマラソン

NIIGATA CITY MARATHON 2015

ボランティア、大会運営に二役



コース沿いに立ってランナーの走りを見守るボランティア

「第三十三回新潟シティマラソン」が十月十一日、ゲストラランナーに高橋尚子さんらを迎えて開催されました。今回は県内外から過去最多の約一万二千人のランナーが参加、西区・関屋分水のコース沿いには地元ボランティアの走路員がランナーの走りを見守り、マラソン運営に一役買いました。朝方は雨模様でしたが、フルマラソンのスタート前後には雨も上がり、まずまずのマラソン日和になりました。ランナーは萬代橋、信濃川、日本海夕日ラインなど新潟市の名所や観光スポットを快走しました。浦山、有明両自治協、青山地区民生委員、青山小スポーツ振興会の約百人のボランティアスタッフが走路員、給水スタッフなどを務め、大会の安全と盛り上げに協力しました。

平成27年度 青山コミュニティハウス

文化祭

青山コミュニティハウス

文化祭

10月23日・24日・25日

作品展 23日(金)10:00~17:00

24日(土)10:00~15:00

編み物・生花・陶芸・俳句・習字

喫茶コーナー 商店 セルフサービス

お菓子用意しました。

芸能祭

25日(日)10:00~15:00

有明フラダンス

民謡まつりの会

新民謡親和会

太極拳青山会

山沢詩吟教室

親和カラオケ

永田宏行と歌おう「歌声広場」

来館者数

	24年度	25年度	26年度	27年度
作品展	237	155	196	204
芸能	271	290	242	252
計	508	445	438	456

青山小学校合唱部



民謡 ひまわり会



永田宏行と歌おう「歌声広場」



ジャズダンス Charm (チャーム)



民謡 満月会



山沢詩吟教室



民謡 まつの会



民謡 きずな会



太極拳青山会



有明フラダンス



民謡 親和会



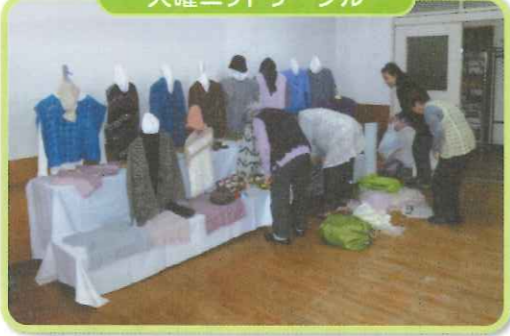
親和カラオケ



陶芸プランタン



火曜ニットサークル



青山小学校 防災学習と標語



生花草月流



キンヨウカイ



水曜編物



書道 蒼美会



喫茶コーナー



編物4J会



俳句石菖句会



在宅医療講演会

平成二十六年六月介護保険制度改正法が改正になりました。

内容は、①要支援者の介護事業を国から市町村事業とする。②特別養護老人ホームの入所を介護度3以上にする。③



3以上にする。③ 団塊世代の昭和二十四年生まれの方が、七十五歳になる十年後の二〇二五年までに亡くなる場所を施設や病院でなく自宅や地域で終末を迎える為に地域包括ケアシステムの構築を進める一などの内容です。

地域包括ケアシ



講師 齊藤忠雄先生

終末期の在宅医療をどうするか――。

システムでは、往診や訪問診療等の在宅医療が大きな比重を占めます。青山コミ協福祉部会では、十月二十四日有明福祉会館で、現在中央区高志で開業し地域医療に先進的に取り組んでいる齊藤忠雄先生を招いて講演会を開催しました。

講演では「午前中外来診療で、午後は地域を回る訪問診療している。これは高齢で患者が外来診療に來れなくなっている。現在対象は六十世帯」「二〇〇七年地域密着型サービスの小規模多機能型居宅介護施設ケアステーションや訪問介護ステーション「るびなす」を立ち上げ、がん末期の患者さんへの在宅ホスピスケアを提供。『るびなす』開設以来二十二人の方を看取りました」等数多くの取り組みをスライド上映し、紹介しました。

講演後、先生の希望もあり同じ会場で会費制の懇親会を四十人で行いました。先生の取り組みに感心しながら、次から次へ質問が出され大変有意義な講演会でした。参加者は会場の大きさもあり、青山コミ協役員、自治会役員、民生児童委員、地域福祉活動団体、有明福祉会館、西区社協、包括支援センターからの五十人でした。



スポーツの秋

ノルディック・ウォーク体験会

スポーツの秋、9月19日早朝にノルディック・ウォーク体験会が行われました。参加者11人が専用ボールの使い方の指導を受け開始しました。関屋分水路～寺地ふれあい公園を折り返し、平島の遊歩道を通る4.4kmの道のりです。気持ちの良い秋風の中、足と腕をしっかり動かし、全身を使つての楽しいウォーキングでした。

皆さんの笑顔あふれる、和やかな体験会となりました。

有明地区

防災訓練



九月二十六日(土)第十三回有明地区防災訓練には四百六十三人が参加し大掛かりな実践訓練を展開しました。

午前十時に地震発生(小針松美台自治会は九時五十分)の想定で始まり、津波に対応した避難訓練、指定避難所への集団避難訓練、青小グラウンドでは津波避難時の大声発生と消火器使用の実践に取り組み、体育館では炊き出し調理に次いで、青山小児童の防災学習発表と防災標語表彰、A E

有明地区

ふれあいの集い

九月九日(水)、有明地区ふれあいの集いが特別養護老人ホーム「有明園」の地域交流室で開かれました。参加者は八十歳以上の高齢者百十三人。自治会役員と民生児童委員のスタッフを含めて百三十七人。会場いっぱい賑やかな集まりになりました。



集いは、眞島西区区長、中藤コミ協会長、山岸民児協会長のあいさつ、お酒と昼食をいただき、大平福祉会館長の〇×ゲームで真剣になり、二本笑いヨガ協会の長寿笑いヨガで暖まり、鎌原専属歌手の歌謡ショー「憧れのハワイ航路」「東京ラプソディ」等懐かしい歌声で盛り上がりました。本格コーヒーもありました。

D使用訓練を行いました。大声訓練の一番は、児童五年生男子二〇六デシベル、大人男性八十歳二〇七デシベルでした。児童の学習発表は分かりやすく聴き入りました。防災標語は名前と自治会名を除き標語のみで自治会役員、民生児童委員等で投票、上位十二人に記念品を贈呈しました。準備は前日の二十五日午後三時から用具収集。当日は午前八時に体育館に集合し会場準備、炊き出し調理等を行いました。

トキ募金

水曜編物サークルが文化祭の会場コーナーでトキ募金を呼びかけ、15,744円の募金がありました。同サークルでは数年前から募金箱をおいてトキ募金に取り組み、「新潟県トキ保護募金」に寄付しています。